

令和6年度第2回

青森県難病医療ネットワーク研修会

難病患者が利用できる医療機器について詳しくなろう！



受講
無料

開催日時

2024
6.29 sat
13:30~16:00

形式

集合研修

場所:
青森県立中央病院
3階 研修室

過去の同研修会参加者アンケートでは、難病患者が利用できる医療機器について理解を深めたいとの声が多く聞かれ、これまで意思伝達装置、人工呼吸器に関する研修会を開催しました。今回は演習を通して学び、支援に携わる各職種の理解を深めることを目的に研修会を開催いたします。

※なお、今回は令和5年度第3回研修(意思伝達装置)と令和6年度第1回研修(人工呼吸器)のいずれも受講した方のみを対象とさせていただきますので、ご注意ください。

内容

「在宅で使用する医療機器についての 解説と演習」

講師

日本難病看護学会認定 難病看護師

協力：フィリップス・ジャパン、カフベンテックジャパン、
チェスト、エア・ウォーター東日本、北斗医理科

お申込み方法については、裏面をご確認ください。

【お問い合わせ】

青森県立中央病院 医療連携部 難病相談（担当：町田、浅利）

TEL：017-726-8416 MAIL：nanbyo_soudan@med.pref.aomori.jp

主催：青森県／青森県立中央病院

後援：青森県難病医療連絡協議会

令和6年度 第2回青森県難病医療ネットワーク研修会
難病患者が利用できる医療機器について詳しくなろう！
～在宅で使用する医療機器について～

今回の研修会は、在宅で使用する医療機器について、**実際に触って取り扱ってみる演習を行います**。医療機器を3ブースに分け、それぞれ45分で各ブースを回る内容になっています。
(解説15分、演習30分、休憩5分)

【プログラム】

講師：青森県内の日本難病看護学会認定 難病看護師

南	輝美	先生	(訪問看護ステーション えがお)
雪田	昇一	先生	(ほ〜むおんナースステーション)
尾崎	景子	先生	(ハーモニーナースステーション)
澤田	智恵子	先生	(青森県立中央病院)
出町	玲	先生	(ほ〜むおんナースステーション)
横山	誠	先生	(訪問看護ステーションえにし)

ブース1 「人工呼吸器」

協力：フィリップス・ジャパン、チェスト、カフベンテックジャパン

ブース2 「輸液ポンプ、PCAポンプ、栄養ポンプ、酸素」

協力：エア・ウォーター東日本

ブース3 「意思伝達装置」

協力：北斗医理科

全体質疑・応答 (10分程度)

【お申し込み】

スマートフォンまたはタブレットからQRコードを読み取るか、パソコンからURLにアクセスし、**氏名・施設名・職種・電話番号・メールアドレス**の入力をお願いいたします。

<https://forms.gle/6bDchSb1m1yurQ1e6>



申込〆切日：6月21日 (金)

< 申し込みから研修会参加までの流れ >

お申込みいただいたメールアドレス宛に6月25日(火)までに「受講決定通知」が届きます。
交通アクセスおよび病院内見取り図については当院ホームページをご確認ください。
お車でお越しの方は敷地内立体駐車場 (1日100円) をご利用ください。